

博士課程教育リーディングプログラム 平成23年度プログラム実施状況報告書

採 択 年 度	平成23年度		
プログラム名	環境エネルギー協創教育院	申請大学長名	伊賀 健一
申請大学名	東京工業大学	プログラム責任者名	丸山 俊夫
申 請 類 型	複合領域型（環境）	プログラムコーディネーター名	波多野 睦子

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

人類は、安全性(Safety)と持続性(Sustainability)の確保された2S社会を求めて、エネルギー(Energy)を獲得してきた。産業革命を経て経済(Economy)活動を活発化させ、環境(Environment)問題に直面した。1970年代以降、我が国はこの3Eを時代の要請に応じて政策的に調和させることで発展し、2Sを当然のこととして国際的役割を担うまでになった。東日本大震災は、我が国のみならず全世界に3Eの根底にある2Sの重要性を再認識させた。我が国の復興・発展には、震災以前の歴史体験とは異なる3Eの調和が必要とされる。本学位プログラムでは、環境とエネルギーの両分野において高度な専門性を有し、時空間的にその形態を変えていく問題を複眼的視点から判断できる俯瞰力、的確かつ迅速な自立的課題抽出・解決力、及び国際的リーダーシップ力を兼ね備え、イノベーションを牽引できる2S×3E時代を担う人材を養成する。

2. プログラムの進捗状況

本教育院では平成23年度において以下を実施し、厳格な「コース編入認定試験」を通じ選抜した修士課程1年次学生20名が平成24年4月より異分野協創・産官学協創・国際連携協創の各教育プログラムを履修できる体制を整備した。

- (1) 運営会議による学内関係規則・運営方針の策定、異分野協創教育マネジメント担当教員・支援スタッフの採用、ホームページ・各種パンフレットの作成
- (2) 5つの異分野協創コース（先端エネルギー、次世代エネルギー、分子環境、地球都市環境、社会経済システム）を構成する科目群、ならびに異分野特定課題研究スキル科目群の構築・周知
- (3) 産官学協創による、リーダーシップ養成コース科目群ならびにインターンシップ科目群の構築
- (4) 海外連携機関との連携協創による、運営方法の合意、海外の大学・研究機関・政策策定機関・企業・日本企業拠点へのインターンシップの企画、ならびに環境エネルギー国際教育フォーラムの企画